

幌延深地層研究計画 令和元年度調査研究成果及び令和2年度調査研究計画
説明会 質疑応答の概要

質問) 昨年度まではPFI契約であったが、今年度はPFI契約を延長したのか単年度契約なのか。また、令和4年度以降の契約も検討中とのことだが、何を想定しているのか。

回答) PFI契約は平成30年度で終了だったことから、令和元年度まで1年間延長した。令和2年度及び令和3年度については2年間工事契約を締結した。令和4年度以降も、基本的に工事契約と考えているが、今後検討していく。

質問) 研究期間20年程度を延長したが、最終的な期限を決めていない。そのような事業はありえない。

回答) 昨年度、北海道及び幌延町には令和2年度以降の計画について受け入れていただいた。今回の計画書にも記載しているが、令和10年度に終了するよう研究開発に取り組む。

質問) 従業員について、具体的な人数を教えてください。

回答) 定年制の職員38名、任期制の身分の者は、請負も含めて39名、合計77名。

質問) 当初計画には予算総額が記載されていたが、今後の予算総額は示されていない。研究費や施設費など予算総額はどうなっているのか。また、関係機関の資金の活用にはNUMOも含まれるのか。

回答) 今後の必要な、令和10年度までの予算総額は試算していない。年度毎の予算額はホームページに掲載している。令和2年度も既にホームページで公表済みである。令和2年度の予算は、建設費27.7億、研究費1.2億、センター運営費0.7億、研究関係の合計は29.6億、その他総務関係費として、広報活動費0.2億 管理費3.2億、総合計として33億となっている。なお、NUMOからの資金は今のところない。

質問) 第4期中長期計画期間も5年なのか7年なのかまだ決まっていない。また、7/11の北海道新聞の記事で、処分場が決まるまでは幌延の研究が続くのではとのコメントが掲載されていたが再度延長があるのではないか。

回答) 今回の報告書にも記載しているが令和10年度に研究を終了するよう取り組んでいく。終わりが無いということではない。第4期が7年かどうかは国が決めること。我々は7年であろうと見込んで令和10年度としている。それが変動したとしても令和10年度に研究を終了するよう取り組んでいく。新聞記事に対してこの場で何か意見を言うのは控えたい。

質問) 新型コロナ関係で来年度以降への予算に影響するのか。

回答) 来年度以降の予算については我々が答える立場でないが、新型コロナの関係で原子力機構全体に配賦される予算が減額になる可能性はあるかもしれない。その場合はその中で施設運営、研究が進むよう努力していく。我々の立場として現時点で来

年度も同じように予算が確保できるとは言えない。

質問) 新型コロナの関係で施設見学は中止していると思うが、施設見学の再開の目途及び再開にあたっての対策についてはどうか。

回答) 6/23 から地下施設の見学を再開している。ホームページにも掲載している。

新型コロナへの対策としては、マスクの着用などをお願いするとともに、特に地下施設に入る際のエレベーターの乗車人数を制限して3密にならないようにするなどしている。

質問) 国は研究の計画と処分場の計画は明確に区別すると言っている。昨年の確認会議で NUMO の資金や人材が入る可能性があるとの発言があった。NUMO の参画は三者協定違反になるのではないか。また、地下での研究計画と処分計画は別であるとの従来の説明と矛盾する。

回答) 幌延深地層研究計画は研究をするための計画である。NUMO が立案しているのは処分場をつくるための計画であり別物である。今、NUMO の資金は入っていない。昨年の確認会議の場で外部資金を獲得すると言った研究機関には、国内で言うと電中研、原環センターその他いろいろな研究機関があり、NUMO も研究をやっているのに対象になる可能性はある。三者協定の中で実施主体に譲渡・貸与しないとなっており、仮に NUMO と協力して研究を実施したとしても、譲渡・貸与に抵触しないよう研究協力を実施する。

質問) 昨年 12 月に研究所の近くを震源とする地震が発生した。大曲断層やサロベツ断層があるこのようなところで研究をやるべきでない。

回答) 大曲断層は活断層ではない。サロベツ断層帯については何年か前に活断層と認定されたため、想定される揺れに対して地下施設が安全であるかを研究している。

質問) 金属セレンが固まっているから、その場が長期安定だというのはわからない。

固まっている原因は活断層による圧力のためではないか。長期安定の長期とはどのくらいの期間なのか。

回答) 金属元素が動かない環境にあるということ。地下水が数十万年間以上にわたって動いていないことや、セレンが溶けない化学条件などを理解することで、地層および地下水の長期安定性についてわかる。

以上